

三重県スポーツ少年団では、各市町スポーツ少年団や各役員から紹介された「地域で活発に特色ある活動をしている単位団」を訪問し、その活動の様子を皆様にお伝えしています。

今回は、津市で剣道を通し、多世代での活動を行っている津西修道館スポーツ少年団(津西修道館)を紹介します。この少年団では、ジュニア・リーダー、シニア・リーダーを多く育て、団の活動を「ささえる」人材の確保、資質の向上に努めています。代表者の南 有さんからお話を伺いました。



南 有さん

津西修道館スポーツ少年団（津西修道館）

○ 設立について教えてください。

私たちは、平成6年5月の活動開始以来、スポ少の種目として剣道を行うことから、日本スポーツ少年団に登録し活動を行っています。

また、全日本道場連盟にも加盟しており、「津西修道館」という道場名で対外試合などの活動をしています。

設立当時は、指導者3人と団員6人程度でスタートしましたが、少しずつ仲間も増えて、団から様々な人材も育ってくれています。



○ 今の活動状況について教えてください。

団員62名、指導者14名で週3日、津市立西が丘小学校の体育館を道場として、1時間30分から2時間程度の稽古をしています。

団には就学前(年中5歳児)から入団でき、現在は、幼稚園児1名、小学生21名、中学生11名、高校生8名、大学・社会人21名という状況です。その中に、ジュニア・リーダー資格者が15名、シニア・リーダー資格者が3名います。中高生は学校の部活動にも入っており、全ての活動に参加することは難しいですが、可能な限り団の活動に参加し、練度を上げていただいていると思います。

また、大学・社会人の中には、休みで津に帰って来た時に参加をしてくれる方もいます。



毎年数名が入団してくれており、お陰様で団員の減少はほとんどありません。昨年は、コロナの影響で活動できない状況があり心配しましたが、途中でやめていく団員はほとんどいませんでした。

設立当時から「団員中心」の理念を掲げ、スポ少の理念のもと、指導者、保護者、OB・OGが協力し、剣道という武道を通し青少年の育成に取り組んでいます。

○ 活動について大切にしていることや工夫されていることを教えてください

指導の方針として、以下の点を団員、保護者と共有して指導しています。

- ・稽古を通じて、健全な身体と心を養い、子どもたちの成長の一助となる指導を心がけること。
- ・稽古を通じて、年齢に応じた礼儀作法や年下の仲間を助けたり、声を掛けたり試合で応援するなどの集団行動ができるよう指導すること。
- ・基本の稽古を大切に、正しい剣道を身につけ、生涯剣道につながる基礎をつくること。
- ・勝ち負けのみに執着せず、一生懸命稽古に打ち込むことの大切さを教えるとともに、仲間や保護者、指導者のおかげで剣道ができることに感謝する気持ちと、稽古に自主的に取り組み、あきらめない心・気力・忍耐力を育むこと。
- ・良いところを褒めて向上心を育むとともに、剣道を楽しみ、好きになってもらうこと。

また、子どもたちの成長にともなって、高学年の子どもが低学年の面倒をみるように意識付けを大切にしています。小さい子には強く打たないなど周りのことを考えられる心をもってほしいと思っています。

試合や練成会、合宿などの行事の他に、地域や学校での清掃活動や地区の運動会などの地域行事にも積極的に参加し、東日本大震災の時には、街頭での募金活動も行いました。

○ リーダーを多く育てていますが、その取組について聞かせください

全国や県が行うリーダー研修やスクールなどに参加して、他団体の様々な人たちと交流し、関わることの大切さを子どもたちに話し、積極的に参加するよう働きかけをしています。そのことの繰り返して、子どもたちの中には、その年になったら自然に研修を受けていくものという意識ができていないかと思えます。

また、リーダーになった者が、合宿などの活動の中で、小さい子どもたちに上手に遊びを教えてくれていることが、リーダーになる意識付けにつながっていると思います。



○ 団の将来に向けて考えていることを教えてください

この団で育った子どもたちが、この団に戻ってきて、仲間を増やし、今よりもっとこの団を発展、進化させてくれることを願っています。

また、戻ってこれなくても、剣道を通して、まっすぐな人間に育ち、どこに行っても伝統文化である剣道の精神を広めてほしいと思います。

○ 保護者の方々にも話を伺いました

・多くの様々な指導者の方々や異年齢の団員たちと関わり、助言をもらえることはとてもありがたいと思っています。

・自分の子どもは、ここでお世話になって16年目になります。指導者や先輩から習得したことを次の世代に伝えていく役目を担ってほしいと思います。この団は、リーダーの育成にも積極的で、OB、OGも多く、とても良いサイクルができています。

・強くなればよいということだけでなく、子どもが楽しく長く続けられるように幅広く活動していることが、よい効果を生んでいると思います。保護者同士の関係も良好で、温かみがあり、皆で皆を育てている一体感が感じられます。